

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	ヒト幹細胞情報化推進事業		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	研究開発振興課		課長:一瀬篤		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-8-1 新医薬品・医療機器の開発を促進するとともに、医薬品産業等の振興を図ること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針 (平成22年厚生労働省告示第380号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞に関する情報を一元化し、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベースの構築を行うことにより、ヒト幹細胞臨床研究を促進し、患者が幹細胞治療や使用されているヒト幹細胞の利点欠点等を知ることができるようにすることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞(iPS細胞、ES細胞、疾患特異的iPS細胞を含む。)の作成・保存方法、性質等の情報を取りまとめ、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベース(日本語版・英語版)を構築する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算		261	123	110		
		補正予算						
		繰越し等						
	計			261	123	110		
	執行額			260				
執行率(%)			99.6%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	データベースへのアクセス数			件	—	—	500	15,000
			達成度	%		—	3.3%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	データベースに登録された細胞数			細胞	—	— (—)	207 (20)	— (100)
単位当たりコスト	1,256,788(円/細胞数)		算出根拠	260,155,135円/207細胞数(登録された細胞数)=1,256,788円/細胞数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	医薬品等試験調査委託費	123	110	—				
	計	123	110					

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	再生医療は迅速な実用化が求められており、国が主体的に取り組むよう求められている。		
事業 の 効率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	企画競争で選定。より競争性を高めるため次年度より、総合評価入札を実施。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	必要最低限の経費のみを予算計上している。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	最小限の費用で効果的な成果を見出した。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業内容を達成するため、必要な経費のみの計上と考える。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—	—		
事業 の有 効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	国が主体的に取り組むことにより、再生医療の迅速な実用化を図ることができるため、効果的な手法である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	学会等を通じての周知方法が成功し、予想以上に成果が出た。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	情報を一元管理することにより、再生医療の実用化が進むと考えられる。		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	—	—	—		
点 検 結 果	本年度は当初見込みより細胞を集めることが出来たので、この調子で本事業を軌道に乗せ、再生医療の研究がより進むよう、効率的で効果的な事業展開を目指し、事業を進めていきたい。				
外部有識者の所見					
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業 内 容 の 改 善	ヒト幹細胞情報化推進事業については、ヒト幹細胞に関する情報を一元化し、情報の提供を行うヒト幹細胞データベースの構築を行うことにより、ヒト幹細胞臨床研究を促進する等のための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であるが、必要に応じ予算の縮減に努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮 減	事業計画に沿った縮減を行った。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	新24-0007	平成24年	新24-006

厚生労働省
平成24年度 260百万円

国内外の大学、研究機関等によって作成・保存されているヒト幹細胞に関する情報を一元化し、国内外の研究者、患者等に対して情報の提供を行うヒト幹細胞データベースの構築を行う。
ヒト幹細胞臨床研究を促進し、患者が幹細胞治療や使用されているヒト幹細胞の利点欠点等を知ることができるようにする。

【随意契約(企画競争)】

A.学校法人慶應義塾
260百万円

【研究者への情報提供、データベースの構築】

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.学校法人慶應義塾			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
需用費	備品購入費、消耗品費、印刷製本費等	169			
人件費	給与費、諸謝金等	67			
その他	旅費、手数料等	24			
計		260	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人慶應義塾	ヒト幹細胞に関する情報化の推進	260	随意契約	—